

恩納村にも所在する天然記念物

恩納村は、沖縄島ほぼ中央部西海岸に位置し、村の西側は海岸部、東側は山岳部と海や川、山などの変化に富んだ自然豊かな場所です。こうした自然豊かな恩納村には多種多様な動植物が生息しています。しかし、同時に自然と隣り合わせという事でロードキルなど悲しい事故で希少野生生物が死亡してしまうという現実もあります。今回は、恩納村でも確認されている希少野生生物を紹介します。少しでも関心を抱いてもらえればと思います。

【国指定天然記念物】オカヤドカリ類

指定年月日 1970(昭和45)年11月12日

所在地 地域を定めず指定

指定種類 オオナキオカヤドカリ、ナキオカヤドカリ、ムラサキオカヤドカリ、オカヤドカリ、コムラサキオカヤドカリ、サキシマオカヤドカリ

生 態 オカヤドカリは主に海岸や海岸林の近くに生息していますが産卵時に海に下ります。幼生期を海で過ごし成長すると陸上でも生活します。



【沖縄県指定天然記念物】クロイワトカゲモドキ

指定年月日 1978(昭和53)年11月9日

所在地 地域を定めず指定

生 態 大きく見るとヤモリの仲間ですが、その中でも原始的なトカゲモドキ科に属します。主な生息地としてシェルターとなる岩穴など石灰岩地に多くいます。また、食事はワラジムシやムカデ、クモ類などを食べ、天敵としては、ヘビ類などが知られています。現在ではその数が減少しており、レッドデータブックにも登録されています。



【沖縄県指定天然記念物】イボイモリ

指定年月日 1978(昭和53)年11月9日

所在地 地域を定めず指定

生 態 日の当たらない湿った場所に生息しています。卵は一か月ほどで孵化した後、幼体は水場に移動して水中で生活し成体になると陸上で生活します。



希少野生生物を守るために、一人ひとりが出来ることとして、車を運転する際には人や自然にやさしくゆっくり走ること、外来種やペットを野外に離さない、もともといた場所から移動させない、とったり持ち帰ったりしないなどの配慮が必要となります。